

グループ(様式3)

平成25年 4月 26日

教育長様

代表者 校園名 大阪市立鶴見橋中学校
校園長名 藤井 徹

印



(電話 06-6562-0001 FAX 06-6562-0470)

申請者 職名・名前 指導教諭・小野寺 健 印

校園名 大阪市立鶴見橋中学校

(電話 06-6562-0001 FAX 06-6562-0470)

平成25年度「がんばる先生支援」申請書

本研究に対する支援を受けたく、次のとおり申請します。

1 研究コース (基礎・今日的課題)研究コース

※()内はいづれかに○を記入してください。

2 研究テーマ

「人権防災教育による子どもの生きる力の育成と学校の変革」

3 研究目的

人権教育を基盤とした防災教育(人権防災教育)の確立

4 研究内容

○人権教育を動機づけとした防災教育の展開方法。

○人権教育の手法を踏襲した防災教育の展開方法。

○東日本大震災をはじめとする過去の震災を「いのち」や「つながり」の視点で学ぶことによって、自分に何ができるかを考え、行動で示していく子どもたちの育成方法。

○以前から交流のある釜石東中学校をはじめとする東北被災地を視察して、「いのち」や「つながり」を視点とした現状を把握し、教育活動に反映する。

○教科や特別活動をはじめとしたあらゆる教育活動と連携させた人権防災教育のカリキュラム研究。

○人権防災教育を軸とした学校運営の確立と保護者・地域・関係諸機関との連携方法。

○学年別テーマを、1学年を「いのち」、2学年を「行動」、3学年を「つながり」とし、学年を経るごとに学びを積み上げながら、卒業後も地域や社会に貢献できる精神と絆の育成方法。

5 活動計画(日程)

※研究内容の内容に応じて、2 年以上の計画を記入しても可。(但し、支援対象は本年度分のみとする。)

- 4月 防災リーダー研修、新入生防災ガイダンス
- 5月 「いのち」と「つながり」の沖縄修学旅行、那覇市立上山中学校での防災プレゼン
- 6月 校外消防訓練の報告会と消防署との連携による避難訓練(火災)及び可搬式ポンプ訓練
- 7月 2年校外防災学習(野外炊飯)、校内防災職員研修会
- 8月 東北防災視察・研修、高知県防災視察・研修
- 9月 群馬大学(片田敏孝教授)研修、防災ポスター制作
- 10月 防災クラブ炊き出し、濾過実習、防災教育交流フォーラム
- 11月 避難所訓練合宿、校区防災フォーラム(地域参加)、関西大学(城下英行助教)研修
- 12月 西成教育フェスタでの活動報告
- 1月 阪神淡路大震災集会
- 2月 避難訓練(地震)、人権防災教育成果物印刷
- 3月 つながりを築く地域学習(3年)、3.11 防災集会

6 見込まれる成果

・一人ひとりの存在を認め合える仲間づくりの推進

・意識の向上

自分に何ができるか、心を寄り添わすとはどういうことを理解し、『主体的に行動に移す』ことができる。

・生徒会活動・自主活動・ボランティア活動の活性化

学校や地域社会に対して自分にできることを考え、行動に移すことができる。

・子どものエンパワメント

人とのつながりを実感したり、だれかに必要とされることによって、自己肯定感や自尊感情が育まれ、それが次の行動への原動力となる。

・防災知識・技能の向上

取り組みの中で学んだ知識や技能を、高い意識をもって実践できる。

・地域主導の自主防災組織の確立(西成区将来ビジョン)

地域を交えた防災の取り組みを通して、地域のつながりと防災意識がさらに築かれる。また、子どもたちが地域の一員であることを自覚するとともに、地域での防災リーダーとして地域を支える人材となる。

7 成果の検証方法

・生徒に対するアンケート

・学校協議会による学校評価

・ぼうさい甲子園等での外部評価

・ボランティア参加人数など数値に現れる効果

8 研究発表の日程・場所(予定も可)

(日程) 平成 26 年 3 月 28 日 (場所) 本校

※今日的課題研究コースは必ず記入

9 予定経費額 金 958,500 円